

い」という結果になっ
ている。市内に認定こども園が
ないことを考えればかなり
の需要があると考えるが、
どうか。

市長 幼稚園教育と保育と
の問題があり、設置につい
ては慎重に対応すべきであ
ると考えている。そのため
内部で慎重に検討する機会
を設けて、これからの方向
性を示していきたいと考
えている。

産業振興ビジョンの 推進について

議員 産業振興に関しての
今後の具体的な戦略につい
てたずねる。

市長 企業支援については、
企業コーディネーターが行
っている情報収集に基づき、
企業間のマッチングや経営
相談等の支援を考え、観光
についても、観光コデー
ネーターの現状の聞き取り
調査等に基づいた新たなツ
アーの企画に取り組んでい
く。また平成28年度には県

とJRが協働で実施する大
型観光キャンペーン「デス
ティネーションキャンペーン」
が計画されており、こ
れを見据え、観光業界等と
の連携により、新たな観光
周遊ルートの開発等に取り
組み、交流人口の拡大を図
っていきたい。

学校規模適正化計画 について

議員 学校規模適正化計画
を公表後、各地区の住民へ
の1回目の説明を終えたと
ころであるが、2回目以降
の説明会についてどういっ
た設定で実施するのか。

教育長 2学期を目途に、
まず保護者対象の説明会を
開催し、次に地域への説明
会を開催する予定である。
1回目は、教育的観点から
の説明を行い、意見を伺う
ことを中心とした説明会だ
ったが、2回目以降は通学
方法等具体的な協議を中心
とした説明会を実施する予
定である。

希望クラブ

質問者 竹原 泉
所属議員 奥野 泰久



定住促進政策につ いて

議員 本年度も市の人口減
少対策として様々な事業が
織り込まれているが、現在
の状況をたずねる。

市長 今年度では、新たに
「お試し住宅事業」等を行
っており、現在のところ一
定の効果が表れている。今
後なお一層、定住促進施策
の周知を図り、子育て世代
の定住・転入促進や若者の

地元定住促進に努めたい。
議員 市の基本計画にも、
若い世代を対象とした定住
促進政策の必要性を掲げて
いる限り、コスト面も含め
て住むことのできる居住条
件が不可欠である。空き家
等をさらに利用することに
より居住場所を創出するな
ど、より一層本腰を入れて
取り組む必要があると思
うが、どうか。

副市長 今後空き家の状況
のさらなる調査等を行い、
新たな情報を確保し、市民
の協力も得ながら住む場所
の確保に向けて取り組みた
い。

行政に対する一般市 民の認識と意識のギ ャップについて

議員 例えばまちづくり協
議会においても、行政との
間にはまだまだ認識に大き
な差があり、問題点の対応
が不十分と感じるが、どう
か。

市長 協働のまちづくり課

が地域に伺い意見交換をす
る中で、認識の差を埋め、
まちづくり協議会に対して
理解の浸透を図ることが大
切であると考えている。ま
た、広く市民に対し、広報
紙等において協議会の取組
み等を報告し、さらに周知
に努めていきたい。

市の観光事業とイベ ントについて

議員 現在までに実施され
た事業内容、そして今後の
観光に対する考え方、認識
をたずねる。

市長 現在までに笠岡諸島
の魅力を満喫できる観光ツ
アーや観光施設の整備、ガ
イドボランティアの養成、
物産展での特産品のPR等
を行っている。

今後のイベントの実施に
あたっては、来客者の滞在
時間を延ばすとともに、イ
ベント当日だけでなく継続
的に訪れるリピーターの増
加につなげていくことが必
要と考えている。このため